

# 環境経営レポート



環境と化学のコーディネーター

## ソーダニッカ株式会社

本社：東京 支社：関西

支店：北海道 仙台 名古屋 広島 四国 福岡

グループ会社：ソーダニッカビジネスサポート株式会社

## 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1. ご挨拶                         | 1  |
| 2. 会社概要                        | 2  |
| 3. 環境管理組織                      | 3  |
| 4. エコアクション21 認証登録の対象範囲         | 4  |
| 5. 環境経営方針                      | 5  |
| 6. 2021年度 環境目標達成状況             |    |
| (1) 環境目標及び環境負荷の実績              | 6  |
| (2) 環境目標達成状況及び今後の対応            | 7  |
| 7. 中期環境経営目標                    | 8  |
| 8. 2022年度 環境経営目標               | 9  |
| 9. 2021年度の環境活動                 |    |
| (1) 主な環境負荷への取組結果               | 12 |
| (2) 二酸化炭素排出量削減への取組み            | 15 |
| ア. 広島・大野ケミカルセンターにおける太陽光発電設備の利用 |    |
| イ. 当社ケミカルセンターにおけるCO2排出量ゼロ電力の導入 |    |
| (3) 営業部門の環境貢献活動                | 17 |
| ア. 環境関連商品の販売取組み                |    |
| イ. 環境配慮型素材(LIMEX製品)への取組み       |    |
| (4) 化学物質の管理                    | 20 |
| ア. ケミカルセンター(物流基地)取扱の化学物質       |    |
| イ. ケミカルセンターの防災訓練               |    |
| ウ. PRTR法のSDS制度対象化学物質           |    |
| (5) 社会貢献活動への取組み                | 21 |
| (6) 地域の環境保全活動                  | 22 |
| (7) その他の環境活動 (eco検定®の受検)       | 24 |
| 10. 環境関連法規等の遵守状況 (過去3年)        | 25 |
| 11. 代表者による全体の評価と見直し (2021年度)   | 26 |
| 12. エコアクション21の取組みのあゆみ          | 26 |
| 13. 表紙の写真について                  | 27 |

## 1. ご挨拶

ソーダニッカ株式会社は、1947年の創立以来、ソーダ製品をはじめとした無機・有機薬品、石油化学製品、合成樹脂製品などを取扱う化学品専門商社として長年にわたり国内産業界の発展に貢献して参りました。全国をカバーするネットワークの構築により、お取引先様から厚い信頼をいただく一方、苛性ソーダ等の主力商品の安定供給をより確かなものにする為に全国4ヶ所にケミカルセンターを設けております。



化学産業は我が国の競争力を支える活力ある産業であり、当社はその一翼を担うべく、基礎原料から、時代のニーズに対応する高付加価値の機能製品まで幅広い商品を取扱っております。常に最新の情報を先取りし、積極的な提案や商品・サービスを提供することが当社に課せられた使命だと受けとめております。

近年、当社を取り巻く外部環境は大きく変化し、社会の多様化とともに企業の社会的責任が問われる時代となりました。このような時代の中で、2019年度よりSDGs（持続可能な開発目標）\*1)への取り組みを掲げました。持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境に対する社会的ニーズをいち早くキャッチし、環境負荷削減に資する商品やサービスなどを提供し、また環境貢献活動を積極的に推進していくことで、あらゆるステークホルダーの信頼と期待に応えていく方針です。

代表取締役 社長執行役員 長洲 崇彦



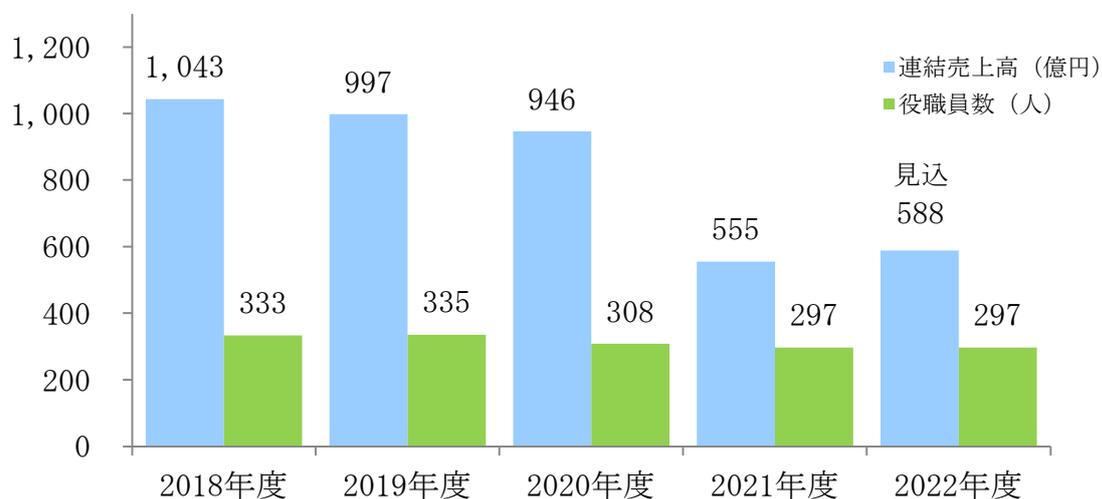
\*1) SDGsとは

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称で、2015年9月に、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択されたものです。SDGsは「誰ひとり置き去りにしない」という理念のもと、持続可能な社会を実現するための、先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についての17の目標(ゴール)と指針(ターゲット)です。政府や自治体だけでなく、民間企業においても取り組む機運が国内外で高まりを見せており、ビジネスの世界での「共通言語」になってきています。主体的に取り組むことが求められています。

## 2. 会社概要

会社名 : ソーダニッカ株式会社  
ホームページ : <https://www.sodanikka.co.jp/>  
本社所在地 : 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 5F  
連絡先 : TEL (代):03-3245-1802 FAX:03-3241-3709  
創立年月日 : 1947年4月1日  
代表者 : 代表取締役 社長執行役員 長洲 崇彦  
資本金 : 37億6,250万円 (2022年4月1日現在)  
売上高 : 555億8百万円 (2021年度・連結)  
主な事業内容 : 化学工業薬品・石油化学製品・合成樹脂及び加工製品・電子材料・燃料・各種機器容器等の売買業及び貿易業、化学工業設備・同機器の設計製作及び施工請負、建築・土木工事請負  
主力化学品については、国内4ヶ所に物流拠点としてケミカルセンターを有し、輸送の合理化及び取引先への安定供給を目的に、サプライチェーン・ネットワークを構築。  
環境責任者 : 執行役員 経営企画本部長 岩淵 修  
環境担当者 : ソーダニッカビジネスサポート(株) 業務部 部長 石川 幸

事業規模(連結売上高、エコアクション 21 に係る役職員数の推移)



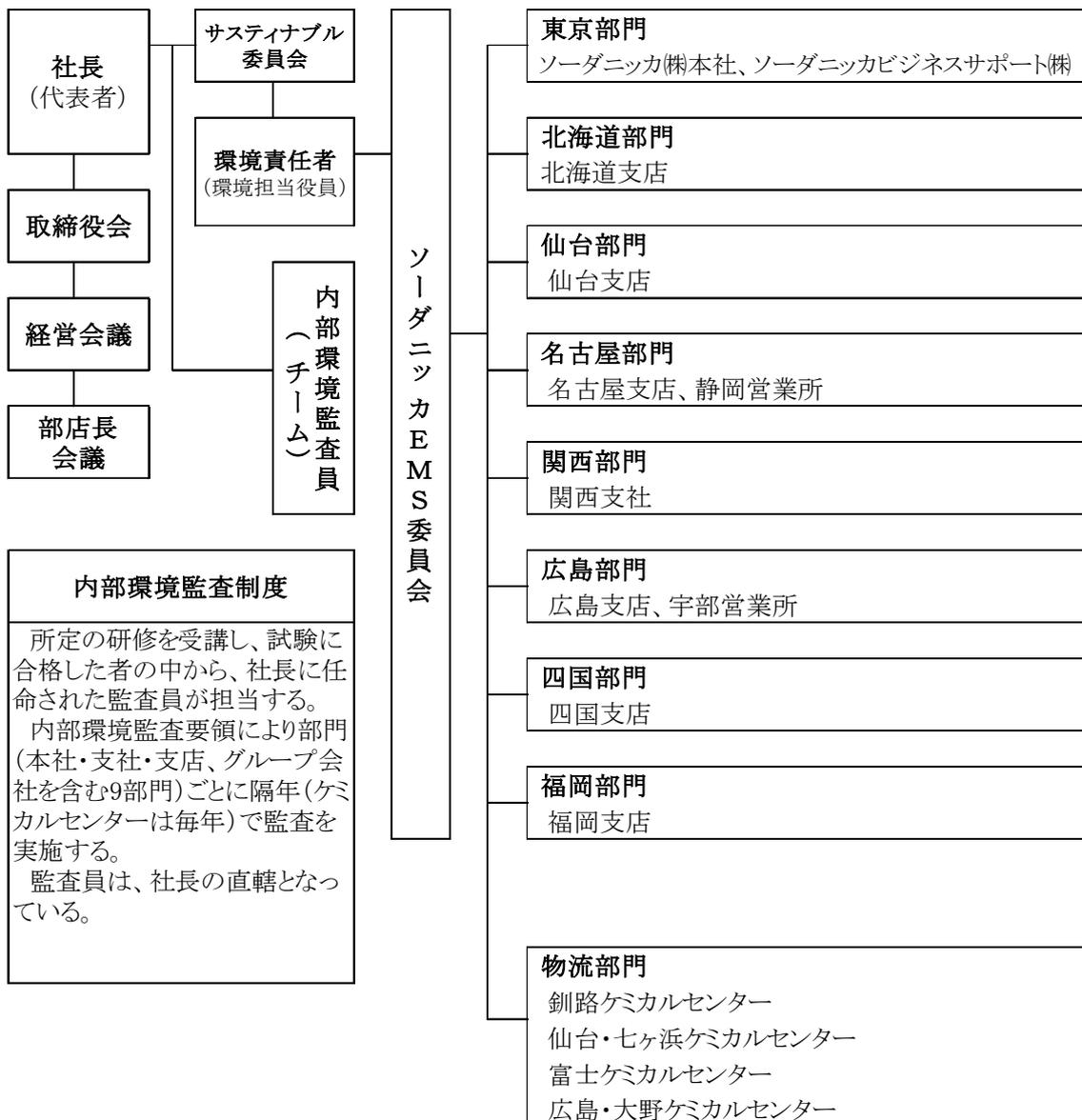
注 1) 2021年度以降 売上高、見込値について

2021年度(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、それ以前の売上高(2018-2020年度)は当該基準適用前の実績値を記載しております。

2) 役職員数(4/1現在)はソーダニッカビジネスサポート(株)の人員を含む。

### 3. 環境管理組織

(2022年4月1日現在)



※北海道部門、四国部門はサテライトオフィスを含む

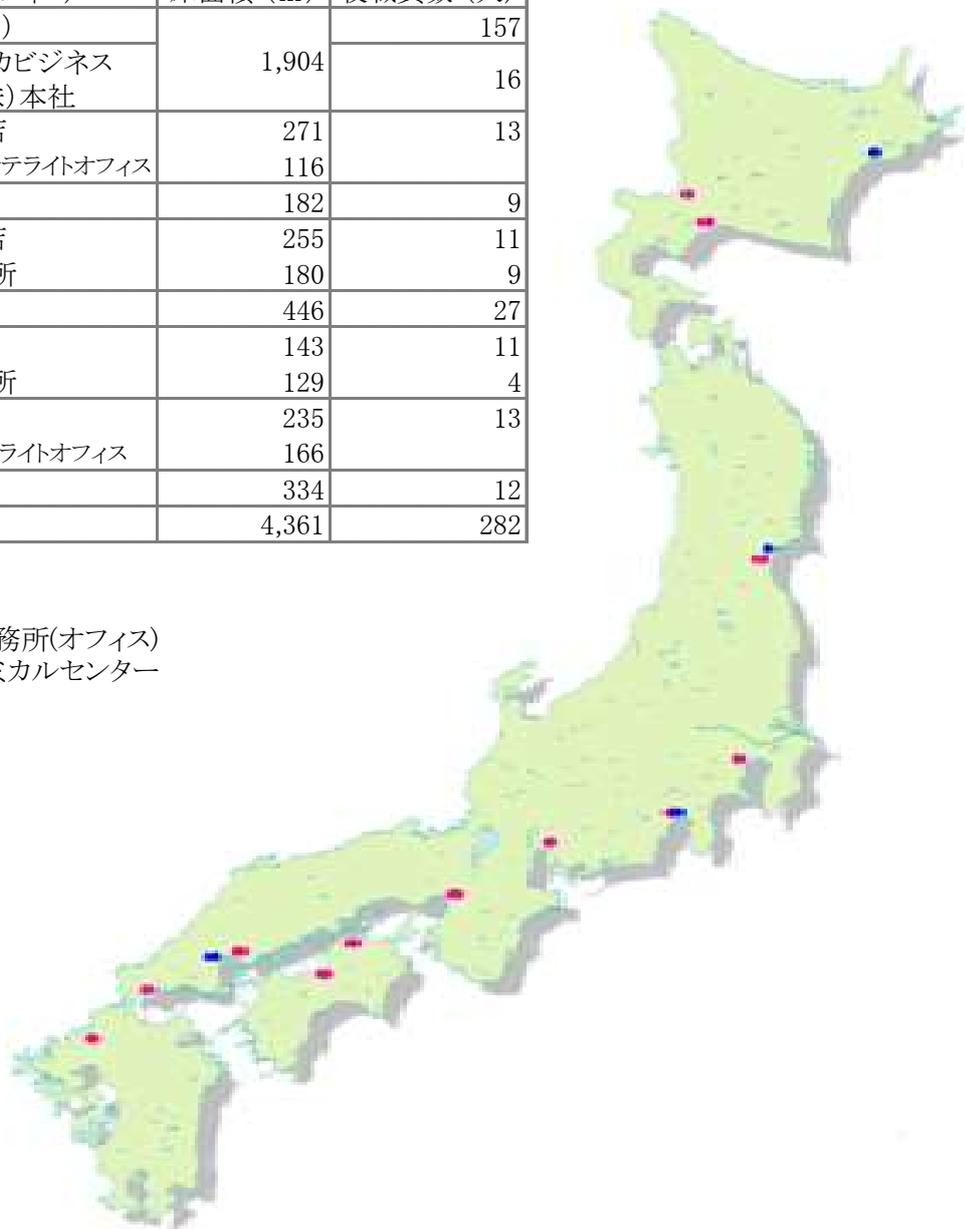
#### 4. エコアクション 21 認証登録の対象範囲

##### ◆事業規模 (2022 年 4 月 1 日現在)

エコアクション 21 に係る役職員数:297 人

| 事務所(オフィス)           | 床面積 (㎡) | 役職員数 (人) |
|---------------------|---------|----------|
| 本社(東京)              | 1,904   | 157      |
| ソーダニッカビジネスサポート(株)本社 |         | 16       |
| 北海道支店               | 271     | 13       |
| 北海道支店サテライトオフィス      | 116     |          |
| 仙台支店                | 182     | 9        |
| 名古屋支店               | 255     | 11       |
| 静岡営業所               | 180     | 9        |
| 関西支社                | 446     | 27       |
| 広島支店                | 143     | 11       |
| 宇部営業所               | 129     | 4        |
| 四国支店                | 235     | 13       |
| 四国支店サテライトオフィス       | 166     |          |
| 福岡支店                | 334     | 12       |
| 合計                  | 4,361   | 282      |

- は事務所(オフィス)
- はケミカルセンター



| ソーダニッカビジネスサポート(株) | 事務所 (㎡) | 役職員数 (人) | 敷地 (㎡) | 倉庫 (㎡) |
|-------------------|---------|----------|--------|--------|
| 釧路 ケミカルセンター       | 75      | 3        | 7,769  | —      |
| 仙台・七ヶ浜 ケミカルセンター   | 127     | 4        | 10,040 | 1,011  |
| 富士 ケミカルセンター       | 204     | 1        | 4,483  | 723    |
| 広島・大野 ケミカルセンター    | 117     | 7        | 3,610  | 335    |
| 合計                | 523     | 15       | 25,902 | 2,069  |

## 5. 環境経営方針

### 企業理念に基づく環境経営基本方針

ソーダニッカは、化学品専門商社として日本の基礎産業である化学工業に携わっており、化学工業薬品、合成樹脂原料・製品、産業用機器類の販売を行っている。また、主力薬品については、安定供給を目的として保管業務も行っている。

これらの事業をグローバルに展開する企業として、企業理念に掲げる『信用を第一』に『社会に貢献する』企業であり続けるために、地球環境保全への取組みをソーダニッカにおける最重要課題の一つとして位置づける。

### 環境経営方針

ソーダニッカ株式会社は、企業経営を通じて地球環境へ配慮していくことを目的に、以下のことを実施していきます。

#### 1. 事業活動を通じた地球環境保全への取組み

企業経営において環境負荷の低減に積極的かつ継続的に取り組んでいくために、自ら定めた目標に向かって全社員が自主的に行動する。また、営業活動においては環境負荷の少ない商品・技術・サービスを社会に提供するとともに、ケミカルセンターにおいては安全管理と環境保全に努めていきます。

#### 2. 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、Reduce(廃棄物削減)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)、新エネルギー等の活用、グリーン購入に取り組めます。

#### 3. 環境関連法規の遵守

関連する環境法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

#### 4. 継続的環境改善への取組み及び地域社会との共生

環境保全に関する目標を設定し、取組み結果を見直すなど継続的な環境改善に取り組むとともに、地域社会との共生を実践するために社会貢献活動に積極的に参加していきます。

#### 5. 環境活動の定着と環境情報の公表

全従業員に対して、この環境経営方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めます。また、環境経営計画及びその実施状況並びに環境関連情報については『環境経営レポート』に取りまとめて公表します。

#### 更新履歴

2005年4月1日 制定  
2008年4月1日 更新  
2011年4月1日 更新  
2012年5月2日 更新  
2019年4月1日 更新

2019年4月1日

ソーダニッカ株式会社

代表取締役社長 長洲 崇彦

## 6. 2021年度 環境目標達成状況

### (1) 環境目標及び環境負荷の実績

| 取組み項目                                     | 単位                 | 基準   | 2021年度  |             |                   |             |
|---|--------------------|--|---------|-------------|-------------------|-------------|
|   |                    | 2017年度実績   | 年度目標    | 対基準増減率      | 実績                | 対目標増減率      |
| 1. 二酸化炭素排出量の削減                            | kg-CO <sub>2</sub> | 543,342  | 464,810 | -14.5%      | 404,521           | -13.0%      |
| 1.1 電力使用量の削減                              | kWh                | 643,048  | 626,136 | -2.6%       | 594,728           | -5.0%       |
| 1.2 ガソリン、軽油使用量の削減                         | ℓ                  | 2018年度実績   |         |             |                   |             |
|   |                    | 40,417   | 23,714  | -41.3%      | 20,209            | -14.8%      |
| 2. コピー用紙使用量の削減                            | kg                 | 2017年度実績   |         |             |                   |             |
|   |                    | 9,838  | 7,249   | -26.3%      | 6,099             | -15.9%      |
| 3.1 廃棄物排出量の削減<br>(事業系一般:紙+プラスチック)         | kg                 | 2020年度実績   | 前年を越えない |             |                   |             |
|   |                    | 8,574  | 8,574   | 0.0%        | 6,347             | -26.0%      |
| 3.2 廃棄物排出量の削減<br>(産業廃棄物)                  | kg                 | 2020年度実績   | 前年を越えない |             |                   |             |
|   |                    | 39,945   | 39,945  | 0.0%        | 52,231            | 30.8%       |
| 4. ケミカルセンター水道使用量の削減<br>(製造用水以外)           | m <sup>3</sup>     | 2020年度実績   | 前年を越えない |             |                   |             |
|   |                    | 872  | 872     | 0.0%        | 674               | -22.7%      |
| 5. ケミカルセンター排水量の把握                         | m <sup>3</sup>     | 2020年度実績   |         |             |                   |             |
|   |                    | 505  |         |             | 339               |             |
| 6. グリーン購入の拡大                              |                    | グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用した。印刷物、事務用箋、封筒、名刺などは環境配慮型製品を使用し、それぞれの旨を明記する。購入率の把握に努める。  |         |             |                   |             |
| 7. 化学物質の管理                                |                    | 1) 社内規程に則った作業手順、保守管理基準、防災マニュアルにより、安全と環境保全に努め、ケミカルセンターにおける災害発生を未然に防止する。<br>2) PRTR法のSDS制度 対象化学物質(第一種、第二種指定化学物質)の年間販売量の把握に努める。 |         |             |                   |             |
| 8. 営業部門の環境貢献活動                            |                    | 1) 3Rの推進及び新エネルギー等の活用を積極的に提案する。<br>2) 環境配慮型の製品・技術の開発・普及に努める。<br>3) 取組み内容を環境経営レポートにて公表する。                                      |         |             |                   |             |
| 9. 地域の環境保全活動                              |                    | 環境保全に係るボランティア活動等に参加し、地域社会との共生を推進する。  |         |             |                   |             |
| 10. その他の環境活動                              |                    | 環境啓蒙活動の一環でeco検定®の受験を推奨する。  |         |             |                   |             |
| 二酸化炭素排出係数<br>2017年/2021年<br>(2016) (2020) | 北海道電力              | 0.640/0.549  | 東北電力    | 0.548/0.457 | 東京電力<br>エナジーパートナー | 0.474/0.441 |
|   | 中部電力               | 0.480/0.377  | 関西電力    | 0.493/0.350 | 中国電力              | 0.694/0.521 |
|   | 四国電力               | 0.529/0.569  | 九州電力    | 0.483/0.479 | (株)エナリス           | - /0.000    |

注) 電力の二酸化炭素排出係数は2017年/2021年の前年度実績値を使用しています。

廃棄物排出量(紙、プラスチック)は当社で計量可能な紙類、プラスチックの排出数量及び産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく数値となります。

## (2) 環境目標達成状況及び今後の対応

| 取組み項目                          | 2021年度 達成状況   |  | 今後の対応  |
|--------------------------------|---|--|--|
|                                | 評価  | 取組み結果  | 2022年度   |
| 1. 二酸化炭素排出量の削減                 | ○   | 各事業所で営業車の廃止や台数減でガソリン使用量の減少。2022年1月 釧路CC、仙台・七ヶ浜CC、2022年3月 広島・大野CC (一部、高圧電力のみ)の電力由来による二酸化炭素排出量(排出係数)がゼロとなった。 | フレックス・在宅勤務を引続き行い、営業車の廃止や台数減に努める。<br>支社・支店等においてもテナントビルでプラン変更の取組が始まっていないが情報収集を行う |
| 1.1 電力使用量の削減                   | ○   | 昼休みの消灯の徹底、在宅勤務の増加などにより減少   | 引き続き、節電を心掛け、残業などでの業務終了時に不要な照明は消灯する   |
| 1.2 ガソリン、軽油使用量の削減              | ○   | 社用車の廃止等によりガソリン、軽油使用量が減少。   | 引き続き社用車の見直しと公共交通機関、カーシェアリング等を積極的に利用する  |
| 2. コピー使用量の削減                   | ○   | 営業管理の注文FAXを紙からデータへ移行により減少。   | ・配布資料等をデータで共有を徹底。<br>・集約・両面コピーの推進。   |
| 3.1 廃棄物排出量の削減 (事業系一般:紙+プラスチック) | ○   | 新聞、雑誌・カタログ購読を一部廃止のため排出量減。  | 取組み継続  |
| 3.2 廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)          | ×   | 本社オフィスリニューアルに伴う廃プラ処分の為増加   |  |
| 4. ケミカルセンター水道使用量の削減 (製造用水以外)   | ○   | 大野CCの使用量が減少  |  |
| 5. ケミカルセンター排水量の把握              | 現状把握を行った。   |  |  |
| 6. グリーン購入の拡大                   | グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用した。   |  |  |
| 7. 化学物質の管理                     | ケミカルセンターでは、毎月の安全会議・年1回の防災訓練を行っていたが、防災訓練は新型コロナウイルスの影響により2021年度は実施しませんでした。<br>本社及びケミカルセンターの関係者で、年1回の全国物流管理者会議を開催し、事故防止に努めた。 |  |  |
| 8. 営業部門の環境貢献活動                 | 環境配慮型製品のPRでエコプロ2021に出展LIMEX製品の紹介を行った  |  |  |
| 9. 地域の環境保全活動                   | 各事業所毎に環境活動に参加した。  |  |  |
| 10. その他の環境活動                   | eco検定合格者 20名(2021年度)  |  |  |

## 7. 中期環境経営目標

達成可能な環境経営目標として、全社一律の数値目標を設定した。

尚、管理項目により「基準年度」は異なる。

|        | 管理項目                 |          | 年度<br>単位           | 基準年度    | 中期計画（削減率）  |         |         |         |         | 実績（全社）  |                | 前年度比<br>削減率    |
|--------|----------------------|----------|--------------------|---------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------|----------------|
|        |                      |          |                    |         | -0.33%     | -0.66%  | -1.00%  | -1.00%  | 2020    | 2021    | 2022           |                |
|        |                      |          |                    |         | 2017       | 2019    | 2020    | 2021    | 2022    |         |                |                |
| インプット  | 電力                   |          | kWh                | 643,048 | 640,926    | 638,804 | 636,618 | 636,618 | 627,222 | 594,728 | <b>594,609</b> | <b>-0.02%</b>  |
|        | 化石燃料                 | 重油       | ℓ                  | 23,531  | 23,453     | 23,376  | 23,296  | 23,296  | 28,012  | 27,653  | <b>27,653</b>  | <b>0.00%</b>   |
|        |                      | 灯油       | ℓ                  | 12,978  | 12,935     | 12,892  | 12,848  | 12,848  | 12,273  | 12,279  | <b>12,279</b>  | <b>0.00%</b>   |
|        |                      | LPG      | kg                 | 48      | 48         | 48      | 48      | 48      | 29      | 32      | <b>32</b>      | <b>0.00%</b>   |
|        | コピー用紙                |          | kg                 | 9,838   | 9,806      | 9,773   | 9,740   | 9,740   | 8,182   | 6,099   | <b>6,095</b>   | <b>-0.07%</b>  |
| アウトプット | 二酸化炭素排出量             |          | kg-CO <sub>2</sub> | 543,342 | 541,549    | 539,756 | 537,908 | 537,908 | 471,299 | 404,521 | <b>223,127</b> | <b>-44.84%</b> |
|        | 各電力会社の排出係数<br>(実績年度) |          | (実績年度)             | (2017)  | (2017)     | (2017)  | (2017)  | (2017)  | (2019)  | (2020)  | (2020)         |                |
|        | 管理項目                 |          | 年度<br>単位           | 2018    | 2019       | 2020    | 2021    | 2022    |         |         |                |                |
| インプット  | 化石燃料                 | ガソリン+軽油  | ℓ                  | 40,417  | 40,284     | 40,151  | 40,013  | 40,013  | 23,726  | 20,209  | <b>20,853</b>  | <b>3.19%</b>   |
|        | 管理項目                 |          | 年度<br>単位           | 基準年度    | 中期計画（削減目標） |         |         |         |         |         |                |                |
|        |                      |          |                    | 各前年度    | 2019       | 2020    | 2021    | 2022    |         |         |                |                |
| インプット  | 水使用量<br>(CCのみ)       | 上水道（生活水） | m <sup>3</sup>     |         | 前年度実績を越えない |         |         |         | 872     | 674     | <b>674</b>     | <b>0.00%</b>   |
| アウトプット | 資源ごみ                 | 紙+プラスチック | t                  |         |            |         |         |         | 8,575   | 6,347   | <b>6,347</b>   | <b>0.00%</b>   |
|        | 産業廃棄物                | 特管を含む    | t                  |         |            |         |         |         | 46,545  | 52,231  |                |                |

〈中期環境目標（2019-2021+2022）〉

中期計画(削減率)は、第 35 回 EMS 委員会 (2019/3/26)にて社内承認されたもの。

- 1) 化石燃料(ガソリン+軽油)については、社用車保有台数減の影響を踏まえ、2018 年度を基準年度とした。
- 2) 廃棄物排出量(資源ごみ、産業廃棄物)及び水使用量(CC のみ)については、各年度の振り幅が大きいいため、前年度を越えないよう管理する。
- 3) 次期中期計画の初年度を 2023 年度に設定するため、2022 年度に関しては前中期計画(2020-2021)の 1 年延長扱いとする。

〈2022 年度 目標〉

- 1) 現状と乖離してきたため、中期環境目標（2022・最終年度）は指標としない。
- 2) 2021 年度(前年度)実績を上回らない全社方針の下、各部門で検討・設定した数値目標の集計値を最終的な目標値とする。
- 3) 産業廃棄物の排出量に関しては、その多くがスポットのため、2022 年度より目標値の設定は行わず数値把握に留めるものとする。

## 8. 2022 年度 環境経営目標

### (1) 営業部門の環境貢献活動

当社は、営業活動において環境負荷の少ない商品・技術・サービスを顧客に提供することにより社会に貢献していくため、次の課題に取り組む。尚、課題ごとの数値目標は設定しない。

ア. 化学分野における3R推進のため、化学薬品や樹脂製品などの再利用、再使用の仕組みを提案し、廃棄物の削減に取り組む。



イ. 太陽光発電を中心とした新エネルギー等への取組みを進める。



ウ. 各営業部門は、それぞれの得意分野において、環境負荷の小さい環境配慮型製品、技術、サービスの提供を積極的に推進する。



エ. 輸送効率化の工夫と提案により、大気汚染等の環境負荷低減を推進する。



### (2) 化学物質の管理



ア. 当社は、化学物質の貯蔵・販売にあたって環境関連法規が求めている安全データシート(SDS)などの資料提供を徹底することにより、取引先での事故やクレームの発生を未然に防止する。

イ. ケミカルセンターにおいては、特に次の点を環境配慮活動として掲げ、具体的に推進する。

- ① 物流管理規程、毒物劇物危害防止規程並びに関連する手順書、保守管理基準により、工業薬品の保管、取扱作業の安全を期する。
- ② ケミカルセンターごとに定める「防災マニュアル」に従って、緊急事態に対応する訓練を定期的実施するとともに、事故の未然防止に努める。

ウ. PRTR法のSDS制度 対象化学物質(第一種、第二種指定化学物質)の年間販売量の把握に努める。

### (3) 二酸化炭素排出量の削減



全事業所より排出する二酸化炭素は 2021 年度(前年度)実績を上回らないようにする。(全社目標)

尚、上記全社目標の下、各部門で検討・設定した数値目標の集計値を最終的な目標として管理する。

**2021 年度(前年度)実績と比較し Δ44.8%の削減、223,127 kg-CO<sub>2</sub>を目標とする。**

※CO<sub>2</sub>排出量ゼロ電力 導入状況(ケミカルセンターは高圧電力による)

2022 年 1 月～ 釧路ケミカルセンター、仙台・七ヶ浜ケミカルセンター

2022 年 3 月～ 広島・大野ケミカルセンター

2022 年 4 月～ 本社(日本橋フロントにて再生可能エネルギー電力を導入)

省エネ化による二酸化素排出量削減目標を達成するために、以下の取組みを引き続き実施していく。

- ① 電力使用量削減
- ② ガソリン使用量削減
- ③ その他の化石燃料(ガスを含む)使用量の把握
- ④ 新エネルギー等の活用

#### (4) 紙使用量削減



全事業所で使用するコピー用紙は、2021年度（前年度）を上回らないようにする。  
（全社目標）

尚、上記全社目標の下、各部門で検討・設定した数値目標の集計値を最終的な目標値として管理する。

**2021年度(前年度)実績と比較し△0.1%の削減、6,095kgを目標とする。**

また、全事業所で使用する用紙は、全量「環境配慮型製品」\*1)とする。

\*1) 環境配慮型製品とは、「グリーン調達ガイドライン」を満たす製品とする。

#### (5) 廃棄物削減と分別回収



全事業所から排出される資源ゴミ(紙+プラスチック)及び産業廃棄物は、前年度(2021)実績を越えないようにする。(2022年度より数値目標は設定しない)

- ① 一般ゴミの分別とリサイクル化
- ② 機密書類を含むすべての保管書類をリサイクル資源化する。

#### (6) 節水と排水管理



ア. 節水の取組

- ① 賃貸ビル入居オフィスにおいては、ビル管理会社などと提携して節水への取組みを具体化していく。
- ② 自社保有のオフィスにおいては、節水のための具体的取組みを実施し、前年使用量を上回らないように努める。
- ③ ケミカルセンターにおいては、製造用希釈水と生活水を区分管理し、生活水については前年使用量を上回らないよう努める。

イ. 排水管理

ケミカルセンターにおいては、センターごとに定める排水基準により管理し、排水量を把握する。

## (7) グリーン購入



- ア. 印刷物、事務用箋、封筒、名刺などは、環境配慮型製品を使用し、それぞれその旨を明記する。
- イ. 「グリーン調達ガイドライン」により、環境にやさしい商品の調達に努める。

## (8) 地域の環境保全活動への参加



当社は、事業所ごとにそれぞれが所在する地域において行われる、環境保全に関連するボランティア活動などに積極的に参加または支援・協力する。これにより地域社会とともに地球環境保全活動の輪を広げ、社会に貢献していく。

## 9. 2021 年度の環境活動

### (1) 主な環境負荷への取組結果

#### ① 二酸化炭素排出量

・2022年1月から順次、釧路ケミカルセンター、仙台・七ヶ浜ケミカルセンター、広島・大野ケミカルセンターの高圧電力を実質 CO<sub>2</sub> 排出量ゼロの電力に切替えました。

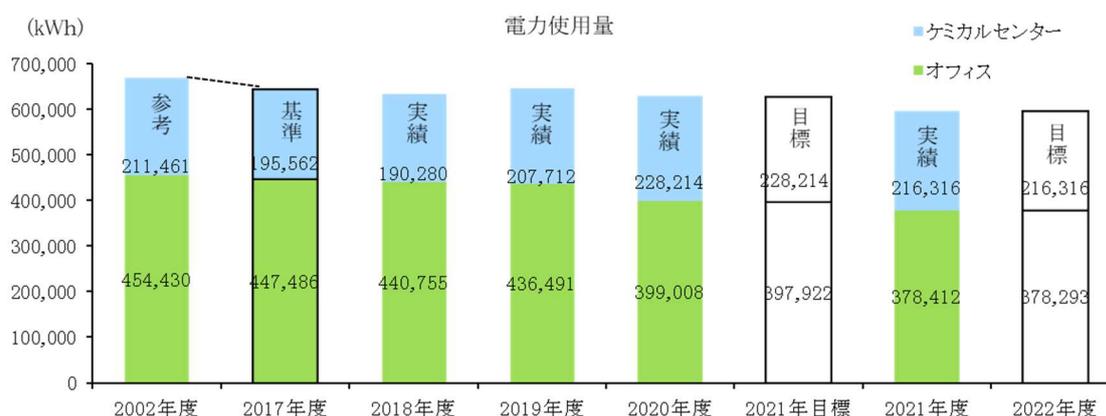
|          | 割合      | 実績                         | 対基準増減率<br>(2017年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|----------|---------|----------------------------|--------------------|--------------------|
| 事務所      | : 53.9% | 218,050 kg-CO <sub>2</sub> | -32.3%             | -4.6%              |
| ケミカルセンター | : 46.1% | 186,471 kg-CO <sub>2</sub> | -15.8%             | -21.0%             |
| 合計       |         | 404,521 kg-CO <sub>2</sub> | -25.6%             | -13.0%             |



※2002年度は当社が EMS 委員会を発足させ、EA21 認証登録に向けた作業を開始した年になります。  
 ※排出量算定に用いる各電力会社の排出係数は、「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」(環境省・経済産業省公表)に基づき、各年度の前年度実績を適用する。

#### ② 電力使用量

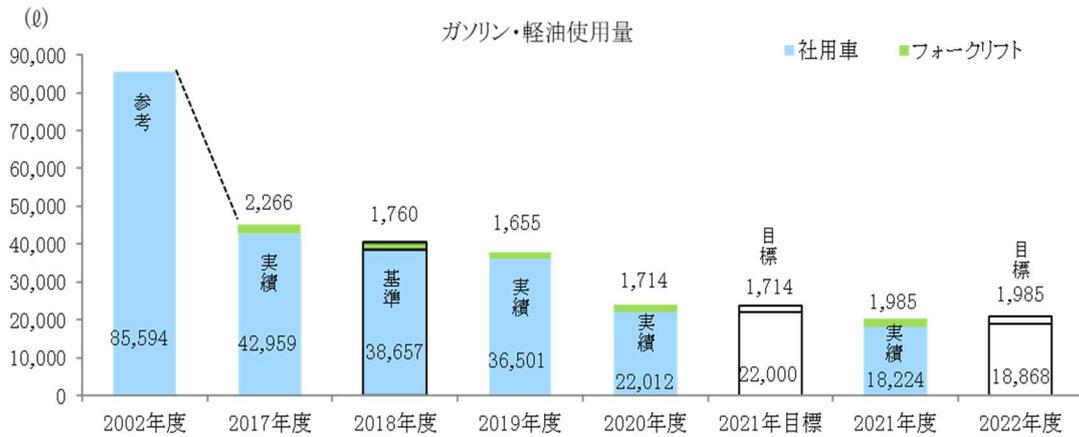
|          | 割合      | 実績          | 対基準増減率<br>(2017年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|----------|---------|-------------|--------------------|--------------------|
| 事務所      | : 63.6% | 378,412 kWh | -15.4%             | -4.9%              |
| ケミカルセンター | : 36.4% | 216,316 kWh | +10.6%             | -5.2%              |
| 合計       |         | 594,728 kWh | -7.5%              | -5.0%              |



### ③ ガソリン・軽油使用量（購入量）

・全社営業車台数の見直しにより引き続き減少。

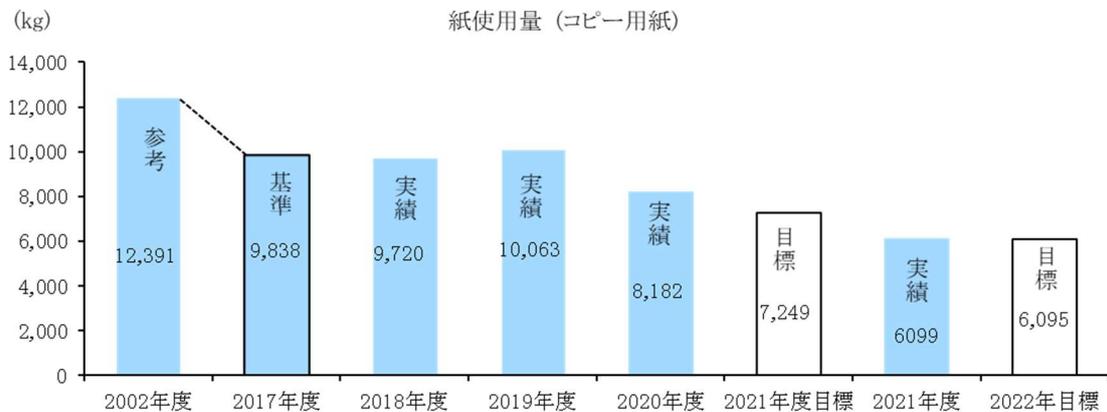
|         | 割合      | 実績       | 対基準増減率<br>(2018年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|---------|---------|----------|--------------------|--------------------|
| 社用車     | : 90.2% | 18,224 0 | -52.9%             | -17.2%             |
| フォークリフト | : 9.8%  | 1,985 0  | +12.8%             | +15.4%             |
| 合計      |         | 20,209 0 | -50.0%             | -14.8%             |



### ④ 紙使用量（コピー用紙 購入量）

・各拠点においてデータのシステム共有やPC-FAX への移行などのペーパーレス化推進により紙使用量が更に減少。

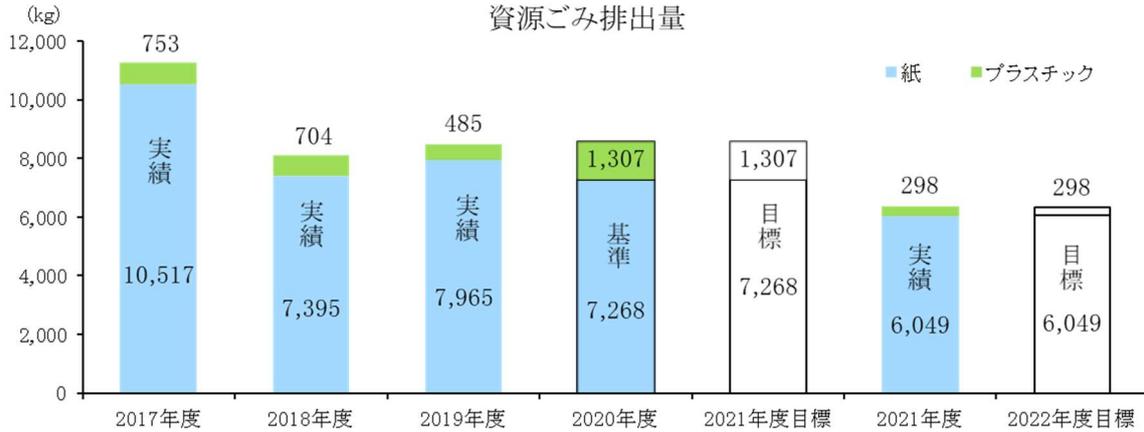
|    | 対基準増減率<br>(2017年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|----|--------------------|--------------------|
| 実績 | 6,099 kg           | -38.0%             |
|    |                    | -15.9%             |



⑤ 資源ごみ排出量

・前年度(2020年度) 本社オフィスリニューアルの際、廃プラスチックの排出量が一時的に増加

|        | 割合      | 実績       | 対基準増減率<br>(2020年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|--------|---------|----------|--------------------|--------------------|
| 紙資源    | : 95.3% | 6,049 kg | -16.8%             | -16.8%             |
| プラスチック | : 4.7%  | 298 kg   | -77.2%             | -77.2%             |
| 合計     |         | 6,347 kg | -26.0%             | -26.0%             |



⑥ 産業廃棄物排出量

・本社オフィスリニューアル工事(3月)により廃プラスチック等の排出量が増加。

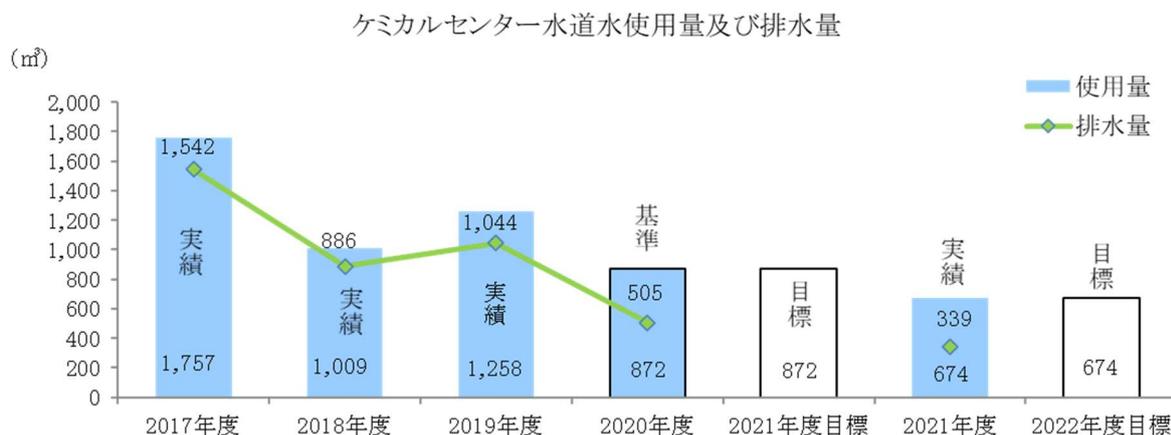
|           | 対基準増減率<br>(2020年度) | 対目標増減率<br>(2021年度) |
|-----------|--------------------|--------------------|
| 実績        | +30.8%             | +30.8%             |
| 52,231 kg |                    |                    |



※特別管理産業廃棄物:爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物。

## ⑦ 水道使用量 (ケミカルセンター製造用途以外)及び排水量

|                       | 対基準増減率 | 対目標増減率 |
|-----------------------|--------|--------|
| 使用量 (2020年度)          |        |        |
| 674 (m <sup>3</sup> ) | -22.7% | -22.7% |



## (2) 二酸化炭素排出量削減への取組み



### ア、広島・大野ケミカルセンターにおける太陽光発電設備の利用

設置:2010年5月末日

場所:広島・大野ケミカルセンター (広島県廿日市市)

製品:ソーラーフロンティア(株)製 CIS系

能力:4.59 kW

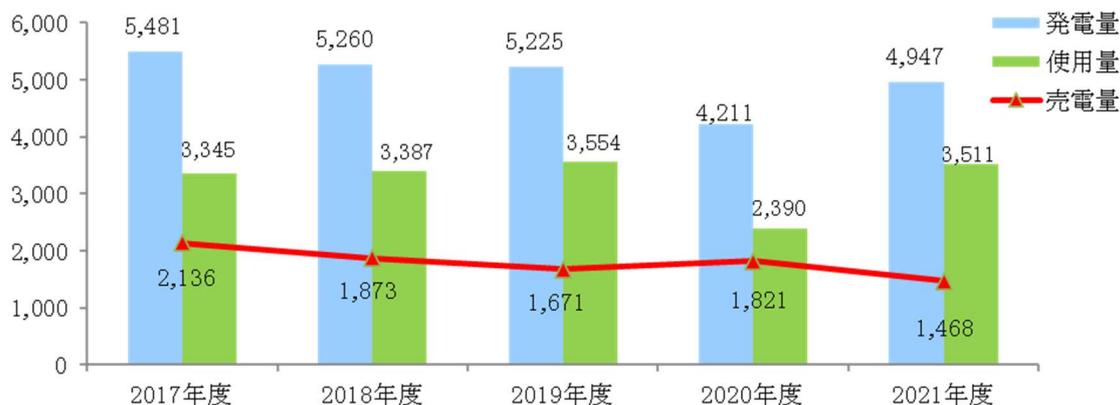
発電量:4,979 kWh

自家発電による使用量:3,511 kWh

売電量:1,468 kWh (中国電力(株)へ)



単位: 広島・大野ケミカルセンター 太陽光発電量・使用量・売電量推移



## イ、当社ケミカルセンターにおける CO<sub>2</sub> 排出量ゼロ電力の導入

各企業において、CO<sub>2</sub> の削減、脱炭素化(温暖化防止対策)への取り組みが強く求められている状況下にあつて、当社所有のケミカルセンター3拠点の動力源である高圧電力契約の見直しを行い、(株)エナリス(本社:東京都千代田区、小売電気事業者:(株)エナリス・パワー・マーケティング)が提供する CO<sub>2</sub> 排出量ゼロの電力「ノンカーボンメニュー」※ を2022年1月より順次導入いたしました。

2022年1月～ 釧路ケミカルセンター、仙台・七ヶ浜ケミカルセンター  
2022年3月～ 広島・大野ケミカルセンター

※注「ノンカーボンメニュー」は、非化石証書 100%(再エネ指定なし)を使用。係数調整に J-クレジットを用いることで、調整後排出係数がゼロ (CO<sub>2</sub> ゼロエミッション)の電気が供給されるものです。

この電力契約の切替えにより、当社が排出する CO<sub>2</sub> 全体量(2020年度実績 467トン)から試算した場合、約 25%(119トン)が電力購入由来から実質的に削減できる見込みとなりました。

また、本社の入居ビルである日本橋フロント(東京都中央区)で、2022年4月より100%再生可能エネルギー電力を導入したため、以降、本社での電力由来の CO<sub>2</sub> 排出量はゼロとなり(2020年度実績では全体量の約24%(110トン)に相当)、上記と合わせて、全社的には導入以前より約50%の CO<sub>2</sub> 削減が見込まれています。



日本橋フロント 正面玄関入口の掲示板

### (3) 営業部門の環境貢献活動

#### ア. 環境関連商品の販売取組み

主な取組みは以下の通りです。 a) 環境への効果 b) 商品名他 c) 提案概要等

##### ① 副生品の有効利用



##### ※ 副生品ストックポイント



- a) 廃棄物、CO<sub>2</sub>削減
- b) 副生品分離／濃縮装置
- c) ・廃棄物削減、副生品再使用による純正品使用量の削減  
・廃棄用中和剤の削減 ・純正品納入の帰り便を活用しての副生品引取  
※副生品の例:塩化アルミ、硫酸バンド、硝酸アルミ他

##### ② プラスチック製の折りたたみコンテナ



- a) リユース・CO<sub>2</sub>削減
- b) コンボライフ
- c) ・災害時の飲料水等供給（内袋の再使用可）  
・食品、飲料、化粧品、洗剤、ケミカル製品等の輸送、保管において金属製品と比較し軽量化、減容が図れる為、輸送効率化による省エネ

##### ③ 潤滑油の再生装置



- a) 廃棄物削減
- b) 静電浄油機
- c) ・潤滑油の酸化変質物、水分の除去による可使用期間延長  
・機器への酸化変質物の付着防止による可使用時間延長

#### ④ 大気汚染防止装置

- a) 大気汚染防止
- b) テクセルスクラバー
- c) 排ガス処理



#### ⑤ 有害ガス、排水の無害化材



- a) 環境への効果:大気・排水への水銀化合物の拡散・流出による環境・健康被害の防止
- b) 商品名他:添着活性炭、キレート樹脂
- c) 提案概要等:廃棄物焼却場、最終処分場、水銀排出事業等における有害物質の除去

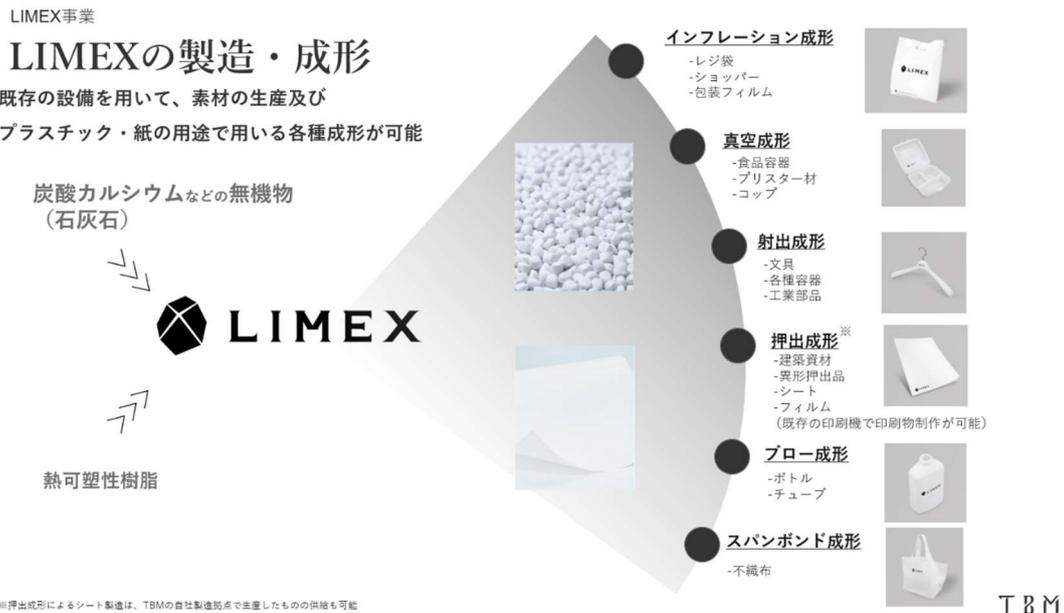
#### ⑥ その他

- ・環境配慮型製品、LIMEX(ライメックス)を樹脂の代替品として提案。  
成形物の原料、団扇の軸やノーズワイヤーへの利用など
- ・輸送のロット化によるCO<sub>2</sub>削減(合理化・効率化)
- ・輸送容器形態の変更提案 : 缶 → ドラム缶、ドラム缶 → タンクローリー  
タンクローリー → トレーラー・ISO コンテナ等
- ・容器、包装形態の省資源化 : 高強度ドラム缶(薄肉化)、高強度フィルム(薄肉化)
- ・環境負荷低減製品の提案 : 再生溶剤、VOC 低減溶剤、排水処理薬品  
温暖化防止溶剤、オゾン層保護溶剤、ECO ゴミ袋

## イ. 環境配慮型素材(LIMEX 製品)への取組み

近年、環境保全の観点から注目されております**樹脂代替素材分野**での商品提供に力を入れており、その一つの取組みとして、**株式会社 TBM が開発・製造している LIMEX 製品**の導入です。

LIMEX 製品は石灰石を主原料とした複合材料で“減プラ”として、環境保全の観点から注目が集まっております。また、当社では株式会社 TBM の子会社である **Bioworks 株式会社への資本提携**を進めており、今後成長が期待される「**生分解性樹脂**」製品の開発準備に取り掛かっております。



### ◆エコプロ2021に出展

昨年12月8日から10日にかけて東京ビックサイトにて開催された日本最大級の環境配慮型製品展示会に出展。多くの来場者を迎え大盛況となりました。



2022年についても「エコプロ2022」12月7日～9日 東京ビックサイトに出展いたします。

## (4) 化学物質の管理

### ア. ケミカルセンター（物流基地）取扱の化学物質

当社は劇物※の船受け可能なケミカルセンター（物流基地）を全国4ヶ所（北海道釧路市、宮城県七ヶ浜町、静岡県富士市、広島県廿日市市）に設置し、物流ネットワークを構築しております。構内や輸送上での事故防止の為、定期的に安全会議、防災訓練、全国物流管理者会議を開催し、安全管理教育の徹底を図っております。

※劇物:「毒物及び劇物取締法」で規制される毒性や腐食性が強い化学物質

釧路ケミカルセンター



富士ケミカルセンター



仙台・七ヶ浜ケミカルセンター



広島・大野ケミカルセンター



#### 【ケミカルセンターで扱う主な化学品】

**【苛性ソーダ】** 無色の強アルカリ性液体。食塩水の電気分解により製造される。

主な用途:化学繊維、製紙、パルプ、化学薬品、食品工業、石鹼

**【塩酸】** 塩化水素の水溶液。酸性が強く、多くの金属を溶解し、塩化物を作る。

主な用途:化学薬品、アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、酸洗用

**【硫酸】** 無色の酸性の液体。主な用途:肥料原料、化学繊維、化学薬品、金属製錬

### イ. ケミカルセンターの防災訓練

毎年、各ケミカルセンターでは防災訓練を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により本年度は実施できませんでした。

## ウ. PRTR 法 の SDS 制度 対象化学物質

- ・第一種指定化学物質:88 物質が対象 (462 物質中) 昨年度より 2 物質増
- ・第二種指定化学物質:3 物質が対象 (100 物質中) 昨年度より 1 物質増
- ・販売量は公表していません。

※PRTR 法 (化管法)

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」 (平成 11 年法律第 86 号)

## (5) 社会貢献活動への取組み

### エコキャップ回収 (医療支援・障害者支援の寄付実施)

#### ①提供先

- ・NPO 法人 エコキャップ推進協会 ・NPO 法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会
- 提供したエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子供達への環境教育等、様々な社会貢献にあてられます。

#### ②回収量

- ・今期: 14,126 個 (2021 年 8 月 ~ 2022 年 7 月)
- ・累積: 127,661 個 (2012 年 7 月 ~ 2022 年 7 月現在)

#### ③焼却した場合の CO<sub>2</sub> 発生量(換算)

- ・今期:32.85kg ・累積 804kg

#### ④回収場所等

- ・エコキャップ回収ボックス



- ・回収したエコキャップ



## (6) 地域の環境保全活動

### 各事業所の環境保全活動への参加

#### ① 本社 まちかどクリーンデー（中央区）

本社では毎月10日前後にお昼休みの時間帯に「まちかどクリーンデー」を行っています。  
本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により2021年4月～2022年3月の計6回の開催となりました。（4/12、11/10、12/10、1/28、2/18、3/10）

2021年4月12日



2022年3月10日



#### ② 釧路ケミカルセンター 2021年7月9日

「海の日」に係る海岸清掃参加



#### ③ 四国支店 2021年7月11日



#### ④ 広島・大野ケミカルセンター 2021年7月17日

大野町漁業主催 一斉海浜清掃活動



#### ⑤ 福岡支店 2021年10月18日



⑥ 広島支店 2021年11月16日



⑦ 仙台・七ヶ浜ケミカルセンター 2021年11月17日



⑧ 静岡営業所 2021年11月25日



⑨ 仙台支店 2021年12月3日



⑩ 札幌支店 2021年12月8日



⑪ 名古屋支店 2021年12月16日



⑫ 宇部営業所 2021年12月17日



⑬ 関西支社 2022年2月28日

大阪マラソン・びわ湖マラソングリーンUP作戦



## (7) その他の環境活動 (eco 検定®の受検)

当社は、第1回試験 (2006年10月15日)より168名の合格者を輩出しています。

受験者には、受験料・テキスト代(初回のみ)などの費用補助を行い、また、2019年度より社内人事昇格試験制度の資格ポイントにeco検定を採用しています。

2021年度(第30回、31回)は合格者が20名となりました。



※eco検定(環境社会検定試験)®は東京商工会議所の登録商標です。



## 10. 環境関連法規等の遵守状況（過去3年）

「環境関連法規」については、「ecoBRAIN」\*1 で法律の改訂内容を確認し「法令遵守状況チェックリスト」を更新し、各部門は9月に遵守状況を確認しました。

【違反等】 行政当局等からの指導、苦情及び訴訟はありませんでした。

(\*1:「ecoBRAIN」第一法規(株)の「ネット環境法令管理システム」)

### 【主に当社に関連する環境法令集】

| <ケミカルセンター関係> | <目的>                     |
|--------------|--------------------------|
| [大気汚染防止法]    | ばい煙の発生                   |
| [水質汚濁防止法]    | 有害物質の排出、浸透防止、漏洩事故時の報告    |
| [廃棄物処理法]     | 廃棄物の処理                   |
| [労働安全衛生法]    | 役職員の健康と安全確保、化学物質の取扱い     |
| [消防法]        | 建物防災、危険物の保管管理、消防活動阻害物質管理 |
| [毒物及び劇物取締法]  | 毒物及び劇物の製造・保管管理、安全輸送      |
| [海洋汚染防止法]    | 船受入時汚染防止、有害物質貯蔵設備の管理     |
| [悪臭防止法]      | 薬品の製造・保管業務における臭気の防止      |

| <営業関係>         |                    |
|----------------|--------------------|
| [毒物及び劇物取締法]    | 毒物及び劇物の輸送・販売       |
| [高圧ガス保安法]      | 高圧ガスの輸送・販売         |
| [消防法]          | 危険物の輸送             |
| [化管法] (PRTR 法) | SDS (安全データシート) の交付 |
| [化審法]          | 新規化学物質の販売          |
| [容器包装リサイクル法]   | フィルム、包装容器のリサイクル    |

| <輸入関係>      |  |
|-------------|--|
| [毒物及び劇物取締法] | 毒物及び劇物輸送時の安全・標記<br>和文 SDS (安全データシート) の交付 |
| [化審法]       | 一般化学物質等の輸入数量の把握・報告                       |

| <総務関係>    |             |
|-----------|-------------|
| [労働安全衛生法] | 役職員の健康と安全確保 |

| <全社関係>       |             |
|--------------|-------------|
| [家電リサイクル法]   | 備品のリサイクル    |
| [小型家電リサイクル法] | 〃           |
| [フロン排出抑制法]   | 事業用のエアコンの点検 |

## 11. 代表者による全体の評価と見直し (2021 年度)

### 環境経営目標及び環境経営計画の実施状況

二酸化炭素排出量は事務所での電力及び社用車のガソリン使用量の減少により、削減目標を達成した。

電力使用量については、ケミカルセンター設備運営に関わる使用が大半である為、更なる削減が困難な状況。設備の更新並びに効率的な使用を心掛ける。

紙(コピー用紙)使用量についても削減目標を達成。営業の注文 FAX を紙からデータへの移行により大幅に削減することができた。今後も引き続き、ペーパーレス化等を図っていきたい。

### 2022 年度 実施体制 (社長指示)

#### ①環境負荷の取組

環境負荷の削減については、削減可能な部分は引続き取り組んで下さい。

#### ②審査員からの指摘・助言事項への対応

審査員からの推奨事項を基にケミカルセンターの安全管理の強化に努めてください。

#### ③実施体制

効率的な運営を心がけてください。

事務局で見直しが必要と考えられるものについては環境経営マニュアル、環境経営レポートに反映させてください。

#### ④環境関連法規の遵守

環境法令については改正の有無等の適宜チェックをお願いします。

また営業部門への管理指導の徹底をお願いします。

#### ⑤内部環境監査

監査強化に努めてください。

## 12. エコアクション 21 の取組みのあゆみ

当社が 2006 年 3 月にエコアクション 21 に全社認証登録されてから 16 年目を迎えました。

2002 年 5 月 EMS 準備委員会発足

2003 年 8 月 パイロット事業に本社参加

2004 年 10 月 本社 認証取得

2006 年 1 月 第九回「環境コミュニケーション大賞」優秀賞 受賞

2006 年 3 月 全社統合 認証取得〔認証・登録番号 0000666〕

以降、中間審査(奇数年)、更新審査(偶数年)を交互に受審。

2010 年 3 月 第十三回「環境コミュニケーション大賞」優秀賞 受賞

2021 年 7 月 中間審査の受審(コロナ禍で半年延期)

2022 年 5 月 更新審査の受審(コロナ禍で延期)

2022 年 8 月 認証・登録証交付(有効期間:2022/3/28-2024/3/27)

### 13. 表紙の写真について

今年度の表紙は、当社として初めて出展した”エコプロ2021”のブースを取り上げました。

エコプロとは、毎年12月に東京ビッグサイトで開催されている環境配慮型製品・サービスに関する一般向け展示会です。2021年12月8日(水)～10日(金)の3日間で当社ブースには1,000人を超える多くの方が来場されました。

詳しくは19ページ「イ. 環境配慮型素材(LIMEX 製品)への取組み」で当社の環境貢献活動をご覧ください。

#### 改訂履歴

| 版数  | 発行日        | 改訂内容 |
|-----|------------|------|
| 第一版 | 2022年9月30日 | 初版発行 |



このレポートはグリーン購入適合紙及びFSC森林認証紙を使用し、作成しています。  
画像及び写真は全て無断転用不可。

ソーダニッカ EMS 委員会事務局